



研究者紹介 私の研究

理工学
研究部

科学技術史グループ
すずき かずよし
鈴木 一義 グループ長

『日本の科学技術の
発展をみつめて』



国立科学博物館



【トヨタスポーツ 800】2012年度日本自動車殿堂・歴史車～トヨタ初の空冷水平対向エンジン搭載スポーツカー。ホンダ S500等と共に、日本製の小型スポーツカーの先駆けとなった。
(2012/11/13～12/16 地球館 2F 展示)

【ものづくり展】～経産省との共催で、日本のすぐれたモノづくり企業と技術者を紹介した展示。今年度も、継続して調査を行っている。



日本の科学技術の発達過程(特に近世以降)を中心に、在来技術や近代技術、現代の産業技術に関わる直接的な資料の収集、調査、研究を行っています。江戸時代からくり人形、鉱山・測量技術から、明治の製鉄、紡績、現代の自動車、飛行機、ロケットそしてモノづくりまで、日本だからできた技術、その特徴を調べています。

【からくり人形】～近代のベースとなる江戸時代の技術には、日本独自のものが多い。茶運び人形や、昨年発見された文字書き人形などは、欧米とは異なる機能を持つ。



【釜山反射炉】～幕末に日本人が独力で蘭書を翻訳し、築造した大砲製造用溶解炉。世界遺産候補として調査と研究が進められており、その価値や意義、保存について、当時の技術文書の解読や煉瓦分析などを行っている。

【佐渡金鉱山】～世界遺産候補として調査と研究が進められている。佐渡金鉱山は、江戸時代、世界で唯一、鉱山で貨幣(小判)製造が行われた。多くの鉱山絵巻が残されており、その状況を調査している。



「研究員に聞いてみました！」

- 1) 専門は何ですか?
技術史です。日本の技術がどの様に発展してきたか。その独自性や特徴を調べています。
- 2) 研究者になろうと思ったきっかけは何ですか?
もともとエンジニアだったのですが、技術と人間の関係や、技術の在り方に疑問と興味を持っていたので、博物館に来ました。
- 3) 最近の研究活動で、最も興味深かった出来事は何ですか?
江戸時代の鉱山資料調査で、当時の作業状況を描いた絵巻に、相撲大会や子供を遊ばせている福利厚生の場面があり、人や自然を大事にした日本人に改めて感動しました。
- 4) 研究者になりたい方に一言アドバイスを!
いろいろなことに興味を持つ。研究者になったときに、発想が広がります。



理工学研究部